授業科目　カウンセリング技法

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	健栄
松本　京介	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	◎	◎

【一般目標：GIO】
人間の心理的側面を重視した栄養教育を展開するために、カウンセリングの理論を理解し、カウンセリング技法の基礎を身につける。

【行動目標：SBO】
1．栄養教育におけるカウンセリングの必要性と倫理の重要性について説明できる。
2．カウンセリングの理論的背景について複数の立場を対比し、説明できる。
3．カウンセリング技法の基礎をもとに、模擬的に実践しようとすることができる。
4．カウンセリング技法の模擬的な実践について討議することができる。
5．カウンセリング技法の模擬的な実践や討議により自らの行為を振り返ることができる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	栄養教育におけるカウンセリングと倫理	1	講義
2	カウンセリングの理論的背景１　精神分析的心理療法	2	講義
3	カウンセリングの理論的背景２　行動療法	2	講義
4	カウンセリングの理論的背景３　来談者中心療法	2	講義
5	栄養カウンセリング予備実習　受容について（タマゴのロール・プレイング）	3	講義・実習
6	カウンセリングの基本的態度　受容・共感・自己一致（１）	2	講義・ビデオ
7	カウンセリングの基本的態度　受容・共感・自己一致（２）	2	講義・ビデオ
8	栄養カウンセリング実習１　聴くときの視線、姿勢および態度	3～5	実習
9	栄養カウンセリング実習２　単純受容	3～5	実習
10	栄養カウンセリング実習３　理解したことを伝え返す	3～5	実習
11	栄養カウンセリング実習４　開かれた質問と閉ざされた質問	3～5	実習
12	栄養カウンセリング実習５　気持ちを受けとめる	3～5	実習
13	栄養カウンセリング実習６　要約	3～5	実習
14	栄養カウンセリング実習７　栄養教育の実践事例	3～5	実習
15	まとめ	1～5	講義・実習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	栄養カウンセリング論　第２版	小松啓子、大谷貴美子編	講談社　サイエンティフィク	2009・2,600円＋税
参考書	医療心理臨床の基礎と経験	馬場謙一	日本評論社	2010・2,600円＋税
その他の資料	適宜プリントを配布する。			

【評価方法】
出席状況、授業参加態度、期末レポートの総合評価

【履修上の留意点】
学生の興味と理解度によって進度を調整する。